

脳梗塞入院1週間以内のリハビリテーション強度

分子 分母患者の入院7日目までのリハビリテーション施行単位合計

分母 1週間以上入院し退院した急性期脳梗塞症例数

脳梗塞入院1週間以内のリハビリテーション強度とは

脳梗塞では麻痺などの症状がでます。早期からリハビリテーション（理学療法、作業療法、言語療法）を行ったほうが機能回復がよいとされています。入院1週間以内に行われたリハビリの程度を表しています。

指標説明

積極的に取り組んでいる病院の場合には単位数が高くなります。しかし、高齢者で血圧が不安定などリハビリテーションの開始に注意を要する場合があります。このような患者さんが多い病院は数値が低くなります。